千葉県警察からのお知らせ

(風俗保安課)

銃砲刀剣類所持等取締法が一部改正されました!

概要

昨今の銃砲を悪用した凶悪事件を踏まえ、自作の銃砲も含む銃砲の悪用防止対策や所持許可を受けた猟銃の対策を講じる改正銃砲刀剣類所持等取締法が、**令和6年6月14日**に公布されました。

主な改正内容

令和6年7月14日施行

①銃砲等の発射及び所持に関する罰則の強化

- 発射罪の対象拡大 (拳銃等以外の銃砲等についても罰則を追加)
- 拳銃等以外の所持罪の罰則強化 (人の殺傷等の目的での所持の場合)
- あおり・唆し罪の新設 (拳銃等の不法所持等を公然とあおり又は唆す行為)

令和7年3月までに施行予定

②電磁石銃の所持禁止

電磁石の磁力により金属性弾丸を発射する機能を有する銃で、一定以上の威力を有するものが原則所持禁止となりました。

改正法施行
日から起算
して6か月
を経過する
日までの間

施行時に既に所持している電磁石銃について、所持禁止の規定は適用されません。

無償で引取りを行います。

③ハーフライフル銃の規制強化

ライフル銃の定義を変更 (腔旋が半分超から5分の1以上) し、ハーフライフル銃についても、厳格なライフル銃の許可の基準を適用することとなりました。

④眠り銃の許可取消要件の厳格化

猟銃等を長期間用途に供していないとして、所持許可を取り消すことができる期間を「3年以上」から「2年以上」に短縮することとなりました。